

さかえ 春日部市議会議員

改選後、春日部市議会副議長に
就任致しました。

栄ひろみ 30歳



初秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

4月に行われました、春日部市議会議員選挙におきましては、多くの皆様のご支援を賜り、2期目の当選をさせて頂きました。そして、改選後に行われた臨時議会におきまして、春日部市議会史上、最年少で副議長に就任させて頂くことが出来ました。これもご支援いただいている皆さまのお陰と心より感謝申し上げます。

これからも市民の皆様の期待と負託に応えるとともに、春日部市議会に新しい風を起こせるよう、誠心誠意努力してまいります。皆様にとって住みやすいまち・賑わいのある元気なまち春日部の実現に向け、市政の諸課題に取り組んで参ります。ご意見ご要望がございましたらお気軽にお寄せ下さい。

今後も皆様のご指導・ご支援を心よりお願い申し上げます。

栄ひろみ

平成26年の活動報告レポート

議会だけでなく、様々な活動をおこなっております。



最年少で副議長に就任

副議長

議会での一般質問

栄寛美 副議長

副議長としての職務

市議会議員選挙演説

南三陸町へ視察に

武里・内牧線 開通式典

栄ひろみプロフィール

昭和59年2月8日春日部市粕壁生まれ。真由美幼稚園～上沖小学校～大沼中学校～越ヶ谷高校～日本大学法学部卒業。平成22年4月春日部市議会議員選挙で初当選。春日部商工会議所青年部、公益社団法人春日部青年会議所大池青年会に所属。現在、1児の父として子育て奮闘中。

HP：<http://www.sakaehiromi.com>

栄ひろみサポーターズクラブ
〒344-0061 春日部市粕壁 1-9-43
TEL：048-752-3451 FAX：048-637-0410



ソーシャルメディア



アメーバ公式ブログ

<http://ameblo.jp/sakae0208h>



フェイスブック

facebook.com/hiromi.sakae



ツイッター

twitter.com/sakaehiromi

議会での一般質問等の内容は裏面に記載しております→

平成26年の定例会における質問内容一覧

市民の皆さまからの要望を実現するため、毎議会欠かさず一般質問を続けております。以下は平成26年前半の一般質問の一覧になります定例会の動画が春日部市議会のHPで公開されておりますので、ぜひご覧下さい。

平成26年3月定例会 一般質問

1、市長の平成26年度施政方針について

- (1) 市政運営について
- (2) 産業・経済分野について
- (3) 行財政改革分野について

2、市内小中学校の教育環境の改善について

- (1) 市内小中学校の校舎・体育館等のトイレの洋式化について、現在の設置状況等
- (2) 学校トイレの洋式化への市の考えについて

3、春日部女子高横の市道1-25号線の拡幅について

- (1) 現状認識について
- (2) 都市計画道路との関係について
- (3) いち早く改善を図って頂きたいが、市としての考えについて



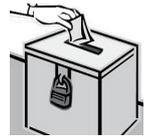
平成26年6月定例会 一般質問

1、超高齢化に伴う諸問題について

- (1) 本市の高齢化の状況について
- (2) 個別の課題について
- (3) 高齢化対策を一元的に推進することについて

3、各種選挙における投票率の向上について

- (1) 現状と投票傾向について
- (2) 投票率向上策について



2、大落古利根川の都市・地域再生等利用区域指定について

- (1) 経緯及び内容について
- (2) 民間事業者等による営業活動について
- (3) 今後の水辺空間の活用について

6月定例会一般質問から

～大落古利根川の都市・地域再生等利用区域指定について～

国土交通省では、全国において河川空間のオープン化を図り、都市及び地域の再生等に資する為平成23年4月1日に「河川敷地占用許可準則」の一部を改正しました。これにより、民間事業者等による河川敷地の利用が可能となり、利用にあたっては、河川管理者が「都市・地域再生等利用区域」を指定することになっています。

これまでの河川敷地の利用は、利用主体が地方公共団体等に限定され、施設も公共・公益性のある公園、グラウンドなどに限られていましたが、一定の要件を満たせば、年間を通じて「オープンカフェ」や「キャンプ場」「バーベキュー場」などとして、民間事業者が自由な発想で利用することができるようになります。

規制緩和が行われ、水辺空間の活用が図られる事により、まちのシンボルである古利根川沿いから新たなまちの活性化が生まれます。また、川の再生、水辺の整備が進み、これまでに地域の方が抱いていた「川という地域資源を活用したい」という想いが、この河川敷地のオープン化により、実現し、地域資源の活用が一層図れるようになります。この緩和に伴う大落古利根川の都市・地域再生等利用区域指定について質問・要望をしました。

今後、年間を通じて継続的に賑わいを創出することで、地域住民の憩いの場とするとともに、川という地域資源を有効活用して、川を中心にまちの活性化を図って頂きたいと考えております。

